



JAPAN

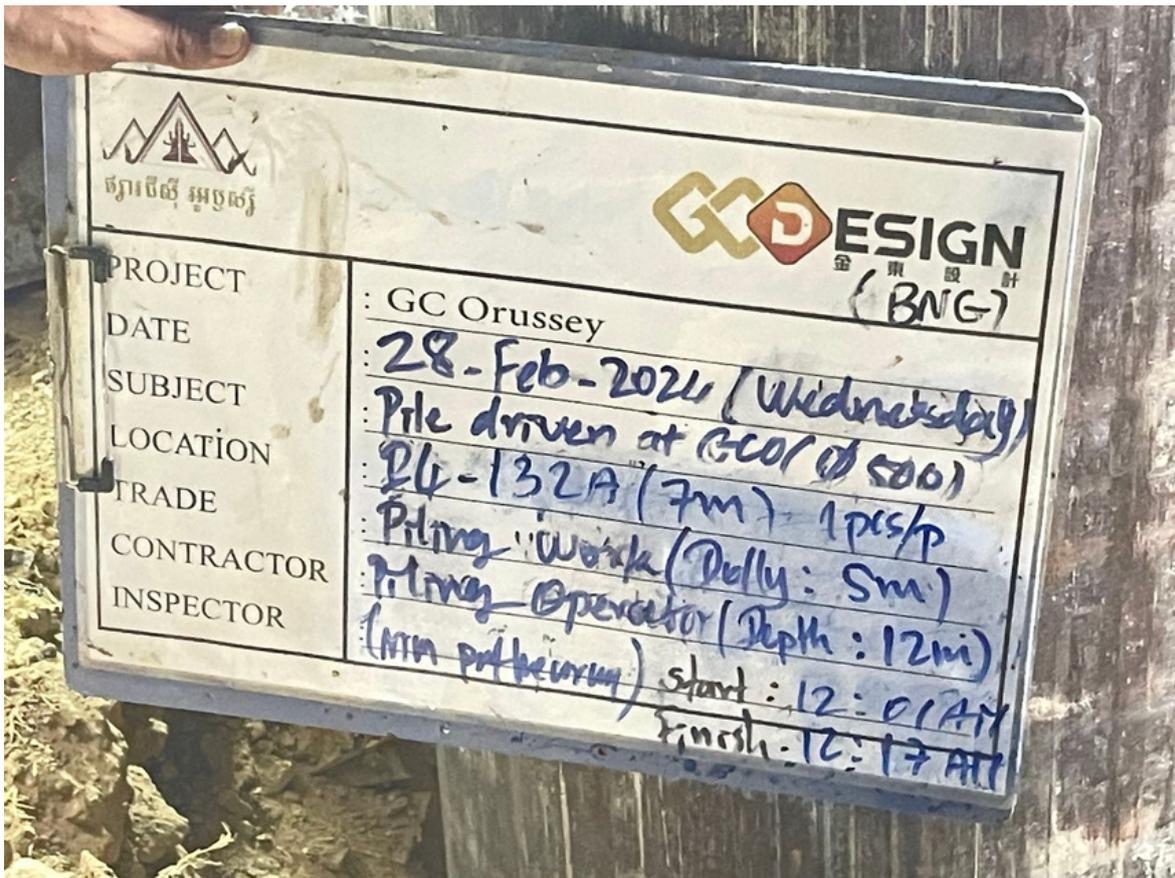
YEAR OF THE DRAGON



GOLDEN CAMBODIA CENTURY

2024年2月29日

GCオルセーマーケットの工事進捗のご報告です。
2月28日に全1009本の基礎杭の打ち込み作業が100%完了いたしました。
順調な進捗を確認し、弊社全体で安全に工事を進めております。



2024年2月21日

GCCジャパンは、カンボジアの教育産業の持続的な成長を目指し、学習塾の運営やインターネット教育コンテンツの開発を手がける日本の株式会社SPRIXと、現地企業であるBELTEI国際大学およびBELTEI国際テストセンターとのパートナーシップ形成を支援しました。2024年2月21日（水曜日）、両者の代表者により覚書締結式がベルテイ国際大学キャンパス2の会議ホールで開催され、カンボジアの教育産業に新たな一歩をもたらしました。この歴史的な式典は、国際標準化された数学テスト（TOFAS）をカンボジアに導入し、学生の知識を高め、人材育成に貢献することを目的としています。SPRIXは、3月22日にカンボジア教育省との会議を開催し、今後、カンボジア全土の小中学生がTOFASを受験できるように対策を検討する予定です。





[関連企業情報]

BELTEI 国際テストセンター ウェブサイト：www.beltei.com

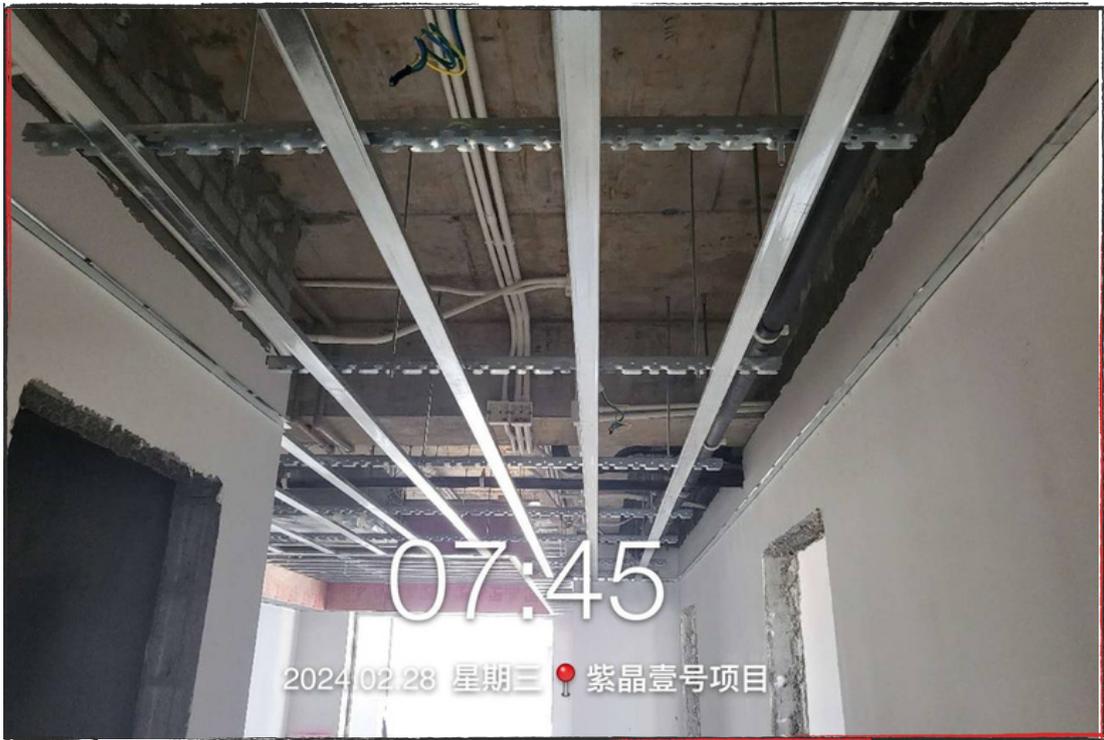
株式会社SPRIX ウェブサイト：www.sprix.com

TOFAS（国際基礎学力検定） ウェブサイト：www.tofas.org



2月のLA VISTA ONEの建設工事進捗についてお知らせいたします。
デベロッパーのYin Yi Venture Co.,Ltdによると工事は順調に進んでおり、
安全に作業が行われています。

棟名	項目	進捗状況	完了率
-----	-----	-----	-----
A棟	外壁の下塗り	ほぼ完了	90%
	バルコニーの手すり	90%完了	90%
	ベランダ排水管	設置完了	100%
	エレベーターT1とT3	設置完了	100%
	27階モデル階		
	天井のキール	完成	100%
	配線	50%完了	50%
	床タイル工事	進行中	
-----	-----	-----	-----
B棟	外壁の下塗り	ほぼ完了	90%
	バルコニーの手すり	90%完了	90%
	ベランダ排水管	設置完了	100%
	エレベーターT7	設置完了	100%



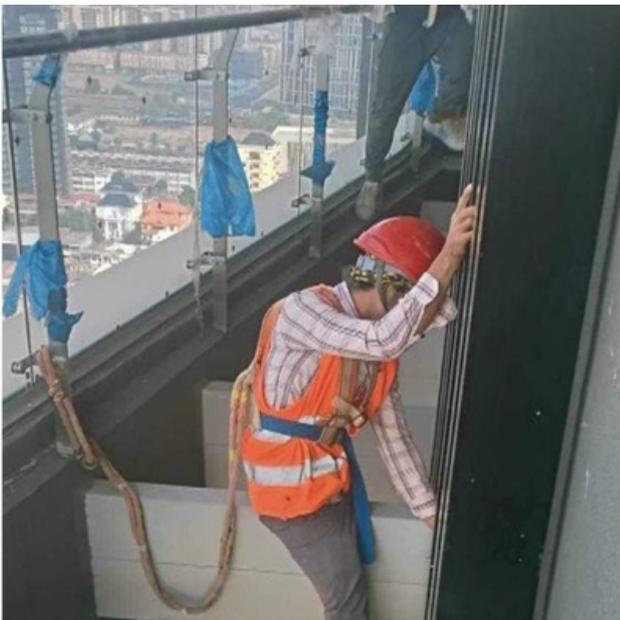




2月のCEO建設進捗報告です。
 順調な進捗を確認し、弊社全体で安全に工事を進めております。

棟名	項目	進捗状況
-----	-----	-----
A棟	ガラスカーテンウォール	内側装飾面を修正
	ドアと窓	グランドフロアガラス取付工事中、 13階玄関、ドア取付完了
	タイル	6FL~14FL 床タイル、バストイレ内壁のタイル取付完了
	天井	7階~13階屋内天井工事完了
	室内塗装	6FL-13FL 室内ベースグラウト完成
-----	-----	-----
B棟	ガラスカーテンウォール	内側装飾面を修正
	ドアと窓	グランドフロアのガラス施工中、 6階~20階、23階のドア枠の取り付け完了
	タイル	6階~20階、22階~25階 内壁と床タイルの施工が完了
		6階~28階 屋内バスルームの壁と床タイルの施工が完了
		6階~20階の廊下床タイル完成
		26階~28階の室内床タイル工事中
	天井	6階~28階室内天井キール完成 21階、24階天井設置工事中
	室内塗装	6階~28階屋内ベースグラウト完了







CAMBODIA
MY 2ND HOME

Latest Information

2024年02月24日

2023年2月2日、クメールホームチャリティ協会（KHCA）とカンボジア・マイ・セカンド・ホーム（CM2H）は、ジャパン・ハートと協力して「Blood for Life」キャンペーンを行いました。ボランティアの医者とコミュニティのサポーターの協力により、66人分の献血が集まり、これにより66人の命を支えることができます。献血にご協力いただいた皆さん、支援団体のチーム、そしてボランティアのお医者様方には、深く感謝しています。





CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2024年02月29日

カンボジア、世界旅行賞でアジア文化の頂点に輝く



出典：[Cambodia elected as Asia's leading cultural destination by World Travel Awards](#)

カンボジアは2023年に再び世界旅行賞でアジアの主要な文化的目的地に選ばれました。ソク・ソケン観光大臣はこの成果を喜び、アンコール遺跡などの文化的・生態的魅力を強調しました。観光は経済の重要なセクターであり、2023年には約545万人の国際観光客が訪れ、GDPの7.5%に貢献しました。

2024年02月19日

タイ事業家、カンボジアへの約10億ドルの投資を検討



出典：[Thai businessmen likely to invest \\$1B in Cambodia](#)

タイの事業家たちが、フン・マネット首相が初の公式訪問を終えた1週間後、カンボジア内の3つの潜在的なプロジェクトに約10億ドルを投資する意向を示しました。カンボジア政府関係者は、カンボジアへの投資環境の安定性と魅力性を強調し、タイの投資家が3月初旬に国を訪れる予定であることを発表しました。フォーラムでは、ビジネス機会、投資、税制手続きなどが議論され、双方の国の経済的関係の発展を促進する目的で開催されました。

2024年02月19日

カンボジアとインド、国境を越えたQRコード支払いを検討

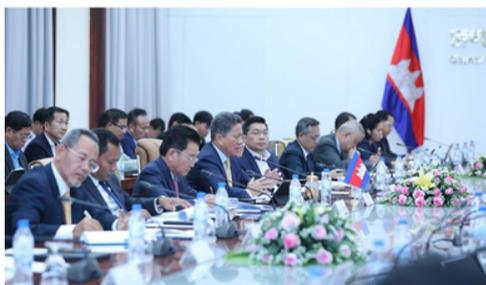


出典：[Cambodia-India cross-border QR payment on the cards](#)

カンボジア国立銀行（NBC）とインドのNPCI International Payments Limited（NIPL）は、国境を越えたQRコード決済の実装を加速するために協議しました。昨年、NBCとNPCIはカンボジアとインド間の送金を促進するMoUに署名しました。この取り決めは、両国の市民が手頃な料金で安全に送金できるようにすることを目指しています。また、NBCは他の国々とも国境を越えた支払いシステムを推進しており、その一環としてバクオンのブロックチェーンベースの支払いシステムを進めています。

2024年02月16日

カンボジア副首相、日本の投資家のビジネス活動拡大に感謝



2月15日、スン・チャントール副首相と上野篤駐カンボジア日本国大使が第27回カンボジア・日本共同委員会会議を主宰しました。関連省庁やJICA、JETRO、JBACなども参加しました。副首相は日本企業の積極的な投資に感謝し、新規投資家の誘致を促しました。上野大使は、2023年の70周年記念イベントを振り返り、カンボジア首相の日本訪問に触れ、カンボジア・日本特別経済区の設立など新たな提案を称賛しました。

出典：[Sun Chanthol thanks Japanese investors for strengthening and expanding their business operations and investment projects in Cambodia](#)

2024年02月16日

2023年、カンボジアの保険業界が3%成長を遂げる

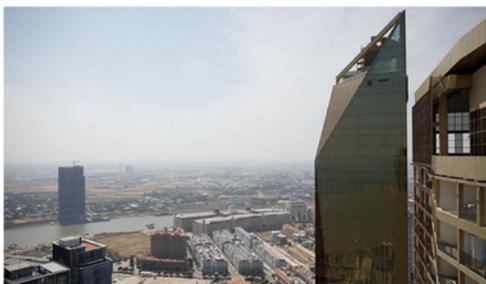


カンボジアの保険業界は2023年、3億4200万ドルの総保険料を記録し、前年比3%増加しました。この成長は18社の損害保険会社、15社の生命保険会社、7社のマイクロ保険会社、1社の再保険会社によってもたらされました。請求額も6080万ドルで、前年比30%増加しています。現在、業界の総資産は約10億ドルです。カンボジア保険規制局(IRC)のディレクターは、保険業界が国の社会保障と経済を支援し、将来の成長に大きな潜在能力があると述べました。

出典：[Cambodia's insurance industry grows by 3 pct in 2023](#)

2024年02月16日

プノンペンを投資家の楽園に、インフラ増強計画



カンボジア政府は、首都プノンペンを投資家や観光客にとって魅力的な都市に変革するための特別計画を策定します。土地管理省は、インフラの改善に重点を置き、プノンペン市民の誇りを高めることを目指します。新しい都市の姿は、土地管理省と公共事業・交通省の協力で実現され、古い建物の改善や新しい建設の基準設定も検討されます。

出典：[Infra boost plan to make PP investors' paradise](#)

2024年02月13日

カンボジア、自発的に税金記録を修正する納税者を免除



2024年1月30日の令状により、カンボジア政府は納税者が会計記録や税申告書の修正を要求できると発表しました。自発的に修正を行う納税者は政府からの免除を受けられます。この措置は、2024年6月末までの修正に適用され、それ以降の誤りには免除が適用されません。税務監査中の修正要求も免除されますが、監査後に修正が必要となる場合は追加の税金や罰金が課されます。この新しい税制は、首相に付属する代理大臣や経済省の機関長などによって実施されます。

出典：[Gov't to exempt taxpayers who voluntarily correct tax records](#)

2024年02月09日

2023年、カンボジアとRCEP加盟国の貿易は約300億ドル



2023年、カンボジアと地域包括的経済連携協定（RCEP）の他の14か国との間の貿易は、昨年約300億ドルに達しました。カンボジアの輸出は28%増加し、インドネシアとの間で特に顕著な成長が見られました。インドネシアはカンボジアの6番目の主要貿易相手に上昇し、輸出は150%増加しました。一方、インドネシアからの輸入も増加しましたが、9%にとどまりました。

出典：[Cambodia-RCEP members trade hits nearly \\$30 bn in 2023](#)

2024年02月12日

ABA銀行とみずほ銀行、クロスボーダー金融サービスの強化へ



2月9日、ABA銀行(カンボジア)とみずほ銀行(日本)が覚書に署名し、クロスボーダー金融流れの強化と地域機会の拡大を発表しました。署名式はABA銀行の本部で行われ、両行の幹部が参加しました。この戦略的パートナーシップは、投資機会や貿易ファイナンスの促進を目指し、顧客に利益を提供するものです。ABA銀行のアスハト・アジハノフCEOは「成長に期待」と述べ、みずほ銀行のCEO 材木 孝一氏も協力を強調しました。この協力により、日本企業と多国籍企業に新たな機会が開かれる見込みです。

出典：[ABA Bank and Mizuho Bank to boost cross-border financial services](#)

2024年02月09日

UAEとカンボジアの包括的経済連携協定が発効



出典：[UAE's Comprehensive Economic Partnership Agreement with Cambodia enters into force](#)

貿易の促進、投資の活性化、経済の多様化を目指す、UAEとカンボジアの包括的経済連携協定が発効されました。この協定により、92%以上の製品ラインに対する関税が撤廃され、貿易障壁がなくなり、サービス輸出への市場アクセスが改善されます。この取り決めは5つ目の協定であり、2030年までに両国間の非石油貿易を倍増させ、10億ドルに達する可能性があります。この協定により、UAEは機械、油、自動車部品などの新たな輸出機会を得ることができ、カンボジアは主要輸出品で利益を得ることができます。

2024年08月08日

カンボジアとタイ、貿易および投資関係拡大へ



出典：[Cambodia, Thailand to enlarge trade, investment ties](#)

カンボジアとタイは、商品の国境越えのメカニズムの改善を通じて、二国間の貿易および投資を強化することを約束しました。Fun Manett首相とタイのスレッタ・タヴィシン首相はバンコクで会談を行い、経済、防衛、安全保障、貿易、投資、観光、およびエネルギー部門など様々なセクターでの関係強化に焦点を当てました。彼らは協力促進のための5つの覚書の署名を見守り、カンボジア商工会議所とタイ商工会議所間の協力を強化するためのタイ・カンボジアビジネスフォーラムに出席しました。そして、次の2年間で二国間貿易を150億ドルに増加させることを約束しました。

2024年02月08日

ARCスタートアップアクセラレーター、カンボジアのスタートアップを指導



出典：[ARC Start-up Accelerator to mentor Cambodian start-ups](#)

プノンペンのアメリカンユニバーシティ（AUPP）テクノロジーセンターは、カンボジアの創業者を育成することを目的としたアクセラレーター、ARCスタートアップアクセラレーターを立ち上げました。この変革的なアクセラレーターは、Red Team Partners GlobalおよびChainsAtlas Pte Ltdとの協力のもと、世界中の起業家とカンボジアの創業者を結びつけ、彼らのスタートアップを拡大するための包括的なサポートと最先端の施設を提供します。カンボジア政府は、全体的な経済開発戦略の一環としてスタートアップの促進にコミットしています。

2024年02月07日

今年、CSXに5社が企業債を上場する見込み



出典：[Five companies likely to list corporate bonds on CSX this year](#)

カンボジアの証券取引委員会（SERC）は、2024年に5社がカンボジア証券取引所（CSX）に自社の企業債を上場すると予測しています。この動きは、市場の資金調達に対する意識を反映し、投資家と企業により多くの選択肢を提供します。CSXのCEO、ホン・ソク・アワーは、上場企業が市場から最大3億7900万ドルを調達し、23社が株式と企業債を提供していると報告しています。

2024年02月06日

アジア市場は混乱、米国の雇用状況が利下げの期待を打ち砕く



出典：[Asia markets mixed as US jobs batter rate cut hopes](#)

米国の雇用報告と連邦準備制度理事会（Fed）のジェローム・パウエル議長のコメントが3月の利下げへの希望を打ち砕き、アジア市場は混乱しました。政策決定者たちは先週、次回の会合で政策を緩和することはないだろうと述べ、トレーダーを失望させました。借入コストが20年ぶりの高さにもかかわらず労働市場と世界最大の経済は頑健で、Fedが利下げする余地はほとんどなく、3月の利下げの可能性は20%に下がりました。

2024年02月02日

日本の投資家がカンボジアでOEM投資を模索



出典：[Japanese investors look for OEM investment in Cambodia](#)

日本商工会議所の代表団は、カンボジアの繊維セクター向けのOEM（相手先ブランド製造）への投資拡大に興味を示しました。日本・メコン事業協力委員会の委員長、鈴木良久は、フン・マネット首相との会合でこの提案を行いました。首相は鈴木氏の提案を称賛し、「代表団の訪問により、カンボジアにおける日本の投資の可能性と拡大がさらに増すでしょう」と述べ、カンボジアを主要な投資先および地域のハブに変えるために日本の投資家と常に調整する準備ができていると説明しました。

2024年02月02日

首相、アメリカ企業にカンボジアへの投資拡大を要請



カンボジアのフン・マネット首相は、アメリカの企業にカンボジアへの投資を増やし、国の社会経済発展を支援するよう呼びかけました。首相はデヴィン・バータ会長率いるアメリカ商工会議所（AmCham）の代表団と会い、カンボジアの投資法の魅力と投資家向けの王室政府のインセンティブ政策を強調しました。また、ハイテク産業団地への投資機会についても話し合いました。AmChamのバータ会長は、会合と協力に感謝の意を表明し、カンボジアをビジネスにとって魅力的な目的地として促進することへの継続的なコミットメントを首相に伝えました。

出典：[PM asks US firms to invest more in Cambodia](#)

2024年02月02日

カンボジアでの日本基準の自動車修理トレーニングについて労働大臣が日本企業と協議



2月1日、労働職業訓練省のヘン・ソー労働大臣は、カンボジアでの日本基準の自動車修理トレーニングに関する協力のため、愛媛日産とフォーバルコーポレーションの2大日本企業と会談しました。2社の代表者は、修理、保守、調整、塗装など、日本基準のサービスに関する企業の専門知識を大臣に確認しました。大臣は、カンボジアにおける日本基準の車両の修理と保守の技術スキルを提供する2社の取り組みを歓迎し、この協力の成功を支援するための省の準備状況を日本側に強調しました。

出典：[Minister of Labour discusses with two Japanese companies on Japanese standard car repair training in Cambodia](#)

2024年01月31日

首相、シアヌークビルとシェムリアップを発展加速のための重要な経済極として指定



フン・マネット首相は、シェムリアップとシアヌークビルの2つの主要な経済極を特別措置を用いて開発活動を促進し、国全体の発展を引き寄せるための重要な拠点として特定しました。、2024年には「シェムリアップ訪問2024」プログラムを開催し、シアヌークビルの投資促進を通じて経済を後押しすることを目指していると述べました。特別投資促進プログラムは、投資活動を促進し、プレアシアヌークを国の経済成長を向上させる先導的な州に変えることを目的としています。

出典：[PM identifies Sihanoukville and Siem Reap as important economic poles for accelerating development](#)

2024年01月30日

プリアシアヌーク特別経済区（SEZ）の基本計画が最終段階に



出典：[Preah Sihanouk master plan for SEZ reaches final stages](#)

プリアシアヌーク州を多目的モデル特別経済区（SEZ）に発展させるマスタープランが最終段階に達し、今年の第2四半期までに政府に提出され、実施される予定だと発表されました。この計画は、シアヌークビルを「第二の深セン市」に変え、小さな漁村から製造業の中心地およびハイテク革新者へと変貌させることを目指しています。SEZは、スマート技術によって強化された東南アジアの主要な経済ゾーンおよび先進的な産業ゾーンとなることを目指しています。

2024年01月28日

2024年にカンボジア経済は6.4%成長予測



出典：[Cambodia's economy expected to grow 6.4 pct in 2024](#)

カンボジア国立銀行のチア・セレイ総裁は、カンボジア経済は2024年に6.4%成長することが予想されていると述べました。その主な理由は観光業と製造業によるものです。しかし、同国は国際貿易と投資の減少、外国投資の低迷による建設業と不動産業の回復の遅れ、気候変動を含む外部および内部のリスクに直面しています。政府はビジネス環境の改善、インフラと物流のアップグレード、人的資本の開発を目指して措置を講じています。

2024年01月26日

カンボジア、イスラエルとの労働セクターでの連携を探る



出典：[Cambodia explores labour sector ties with Israel](#)

カンボジアは、経済運営に移民労働を大きく依存する国であるイスラエルで、自国の移民労働者のための就業機会を探っています。労働職業訓練省のヘン・ソー大臣とイスラエル大使オルナ・サギブは、労働職業訓練省での会議中に労働セクターでの協力の可能性について議論しました。双方はガザの危機に関する情報を共有し、両国間の良好な関係を踏まえ、労働分野での相互経済利益のための協力を検討することに合意しました。また、カンボジアと韓国、日本との間の既存の協力についても話し合われました。昨年、世界各地で130万人以上のカンボジア移民労働者の就労が手配されました。

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

